

鈴鹿市の外郭団体の 経営等の状況について

～平成20年度～

平成18年6月2日に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」が施行されたことに伴い、地方公共団体が資本金、資本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している法人に対しては、その職員数及び職員の給与に関する情報を公開するよう要請されました。

そこで、本市の外郭団体においても「第三セクターに関する方針」に示された「地方公共団体による情報公開の様式例」を参考に、「外郭団体経営等状況表」を作成し、ここに公表いたします。

【公表団体】

- 1 鈴鹿市土地開発公社
- 2 財団法人鈴鹿市事業管理公社
- 3 財団法人鈴鹿国際交流協会
- 4 財団法人鈴鹿市文化振興事業団

鈴鹿市土地開発公社

- 1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成21年2月4日
 作成担当部署 総務部 管財営繕課
- 2 外郭団体名等
 鈴鹿市土地開発公社
 所在地 〒513-0801 鈴鹿市神戸1-18-18 電話 059-382-9675
 設立年月日 昭和48年7月12日
- 3 資本金 10,000千円(鈴鹿市の出資割合 100%)
- 4 事業内容
 公共用地, 公用地等の取得, 管理, 処分を行う。

5 財政状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総資産	12,234,441	11,212,379
	負債	9,653,092	8,993,795
	(うち有利子負債)	6,700,882	8,775,021
	資本	2,581,349	2,218,584
	累積欠損金		

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	802,006	1,343,512
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)		
	経常損益	53,116	187,497
	当期損益	53,116	△ 362,765
	減価償却前当期損益		

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 ()	
	非常勤 12 (8)	300
職員	26 (26)	0

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	18年度	
① 補助金(助成金)			
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計			
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用			
小計			
合計			

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	19年度	
① 損失補償契約に係る債務残高	6,700,881	8,775,021	用地取得費, 運営経費。19年度から年度内に市の貸付金を清算するための借入含む
② 貸付金残高	2,900,000	-	19年度から年度内に市からの貸付金を清算
③ 出資金	10,000	10,000	
合計	9,610,881	8,785,021	

8 地方公共団体による監査結果

指摘事項 特になし

所 見

長期保有土地の扱いを調査結果を基に再取得又は処分等について関係課と協議され, 借入金の圧縮に努め, 健全経営の維持, 継続に努力されたい。公社の財務情報等の情報提供について検討されたい。起案文書や支出負担行為等に決裁日や施行日の記入漏れがあるので適切な文書管理に努められたい。請求書に代表者名が記載されていないものがあるので留意されたい。土地使用許可申請について申請日等の記入漏れが見受けられるので留意されたい。

〇5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

財団法人鈴鹿市事業管理公社

- 1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成21年2月4日
 作成担当部署 総務部 管財営繕課
- 2 外郭団体名等
 財団法人鈴鹿市事業管理公社
 所在地 〒513-0817 鈴鹿市桜島町7-1-1 電話 059-384-0050
 設立年月日 昭和58年4月1日
- 3 資本金 55,000千円(鈴鹿市の出資割合 100%)
- 4 事業内容
 公共施設管理運営
 駐車場事業

5 財政状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総資産	144,267	155,574
	負債	25,063	27,732
	(うち有利子負債)		
	資本	119,203	127,842
	累積欠損金		

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	129,752	131,682
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	102,695	102,500
	経常損益	4,652	8,638
	当期損益	4,652	8,638
	減価償却前当期損益	5,588	9,672

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 2 (・ 2)	8,673
	非常勤	
職員	11 (・ 9)	32,405

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	19年度	
① 補助金(助成金)			
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計			
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用			
小計			
合計			

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	19年度	
① 損失補償契約に係る債務残高			
② 貸付金残高			
③ 出資金	55,000	55,000	
合計			

8 地方公共団体による監査結果

○5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

財団法人鈴鹿国際交流協会

- 1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成21年1月28日
 作成担当部署 生活安全部 市民対話課
- 2 外郭団体名等
 財団法人鈴鹿国際交流協会
 所在地 〒513-0801 鈴鹿市神戸1-1-1 電話 059-383-0724
 設立年月日 平成5年6月1日
- 3 資本金 150,000千円(鈴鹿市の出資割合100%)
- 4 事業内容
 ①国際交流を推進する事業の計画及び実施
 ②国際交流に関する研修・啓発及び普及
 ③国際交流に関する情報の収集及び提供
 ④国際交流に関する調査及び研究
 ⑤国際交流活動への助成
 ⑥国際交流に関する業務の受託
 ⑦国際交流団体への援助及び協力
 ⑧その他寄付行為に記載された目的を達成するために必要な事業

5 財政状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総資産	159,065	159,295
	負債	355	847
	(うち有利子負債)	0	0
	資本	158,710	158,448
	累積欠損金	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	23,711	25,907
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	15,919	17,832
	経常損益	△793	△262
	当期損益	△793	△262
	減価償却前当期損益	△753	74

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費(千円)
役員	常勤 1 (0・1)	0
	非常勤 15 (2・0)	0
職員	4 (0・1)	4,588

役員(常勤・退職者)1名と職員1名は重複

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	19年度	
① 補助金(助成金)	15,919	17,832	事業費, 事務費
② 利子補給金			
③ 税の減免額	50		
④ その他()			
小計	15,969	17,832	
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用			
小計			
合計	15,969	17,832	

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	19年度	
① 損失補償契約に係る債務残高	0	0	
② 貸付金残高	0	0	
③ 出資金	150,000	150,000	
合計	150,000	150,000	—

8 地方公共団体による監査結果

指摘事項特になし

○5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

- 1 作成年月日及び作成担当部署
 作成年月日 平成21年1月30日
 作成担当部署 文化振興部 文化課
- 2 外郭団体名等
 財団法人鈴鹿市文化振興事業団
 所在地 〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町810番地 電話 059-384-7000
 設立年月日 平成9年4月1日
- 3 基本財産 50,000千円 (鈴鹿市の出捐割合 100%)
- 4 事業内容
 (1)文化・芸術の振興に資する事業 (3)鈴鹿市の文化施設の管理運営の受託
 (2)鈴鹿市の文化事業の受託 (4)その他目的達成に必要な事業

5 財政状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総資産	84,866	80,685
	負債	5,145	11,833
	(うち有利子負債)		
	資本	79,721	68,852
	累積欠損金		

損益計算書から	項目	金額(千円)	
		18年度	19年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	61,718	63,155
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	45,934	40,167
	経常損益	2,395	△ 10,869
	当期損益	2,395	△ 10,869
	減価償却前当期損益	3,138	△ 10,137

6 役職員の状況

役職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役職員の人件費総額(千円)
役員	常勤 1 (0:1)	
	非常勤 15 (4:3)	
職員	6 (4:1*)	6,696 (*常勤役員兼務1名)

7 外郭団体への関与の状況

1) 公的支援

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	19年度	
① 補助金(助成金)	45,934	40,167	事業費, 事務費, 江島カルチャーセンターの管理運営費
② 利子補給金			
③ 税の減免額			
④ その他()			
小計	45,934	40,167	—
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額			
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用			
小計	0	0	—
合計	45,934	40,167	—

2) その他

項目	金額(千円)		備考(目的、内容、算出根拠等)
	18年度	19年度	
① 損失補償契約に係る債務残高			
② 貸付金残高			
③ 出資金	50,000	50,000	
合計	50,000	50,000	—

8 地方公共団体による監査結果

特になし

○5.財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えています。(下記参照)

<貸借対照表>資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

<損益計算書>損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)